

# だより 便利堂 京都

KYOTO  
BENRIDO  
DAYORI

2025 VOL.19  
**5/6**  
初夏号

アートのある暮らしで彩りを

便利堂ものづくりインタビュー

## tupera tupera ツペラツペラ さん

便利堂×tupera tupera◎新商品プロジェクト〈京都はん〉誕生秘話



【特集】

## 〈京都はん〉まち歩きMAP

個性派ショップ 20 店◎お気に入りの〈京都はん〉に出会う京都散歩

日本文化の美とともに  
歩み続けて138年



# アートのある暮らし

## ●縮小絵巻物

日々の生活に美術を取り入れることは暮らしに彩りを与えてくれます。

便利堂では、古典の名作から現代の作品までさまざまな美術作品をモチーフとしたアイテムを取り揃えています。

毎号その中から、おすすめをピックアップして美術商品と暮らす日常風景をご紹介します。

今やすっかり必需品となったスマートフォン。15年前の2010年は4%だった携帯電話所有者のスマホ普及率は、昨年2024年には97%に達したとのこと（NTTドコモモバイル社会研究所調べ）。新しい技術の進歩で世界が塗り替えられるのは世の常ですが、スマホなどのデジタルデバイス登場以前と以後で、人々の思考や行動パターンは今までとは桁違いに大きく変化したように感じています。

◆ 我が子はもちろんデジタルネイティブ世代。デジタルデバイスに首ったけな日々です。楽しみも情報も創作も何もかもが掌の上で可能となる秘密の箱。近づいて画面を見ようとしようものなら「見ないで！」とぶいど逃げられる始末。少々苛つきつつも、親に干渉されず自分だけのプライベートな世界で存分に楽しみたいという気持ち、子ども

もといえど「そりゃそうよね」と納得もしてしまうのです。

◆ 〈巻物〉は伝統的な読書や絵画鑑賞のスタイルですが、その形状を見るたびに思い起こすのは、デバイスそっくりな「プライベート感」です。手で持った巻物を肩幅ぐらいに広げ、文章や絵が次々に現れる画面を巻いては揚げを繰り返す夢中になって読み耽る昔のやんごとなき人々を想像しては、デバイスのスクロールを繰り返す私たち現代人との共通点を想います。大きく時代が変わっても、画面に没入する感覚は実はあまり変わっていないのかも。

◆ 京都便利堂の〈縮小絵巻物シリーズ〉は、国宝をはじめとする名品をお手元で気軽に楽しめる縮小サイズの複製です。デバイスをスクロールするように絵巻物を楽しんでみませんか？



縮小絵巻物〈四季花鳥図巻〉酒井抱一  
上・下巻 各¥5,940 / 上下2巻セット ¥13,200

《四季花鳥図巻》は、江戸琳派の祖、酒井抱一が四季折々の花鳥を上下2巻にわたって描いた絵巻物。とりどりの色彩と生き物に溢れ、見ていて楽しくなる作品です。〈縮小絵巻物シリーズ〉は現在26種のラインナップ。京都の経師による手仕事で一本一本丁寧に仕立てられています。



本誌に記載された表示価格は、すべて税込です。

## 折々の絵はがき

《苔寺》堂本印象  
昭和48年 京都文化博物館蔵

洛西にある西芳寺は、庭園を覆う苔の美しさから「苔寺」の愛称で知られています。その庭を描いた本作に漂う密やかな空気から、ふと頭に浮かんだのはバーネットの小説『秘密の花園』でした。街中からはやや離れた場所にあり、道すがら気軽に門をくぐるできないところがそう思わせたのかもしれません。耳を澄ませると木々や苔のざわめき、ここに住まう生き物の息吹が伝わってくるようです。庭の黄金池には美しい水がゆらめき、潤いを湛えた緑が瑞々しく表現されています。

一面の木々は健やかさがうかがえるように枝を自由に伸ばしています。庭師の方の丹精や寺の人の愛情によってのびのびと育まれた緑は、訪れた誰しもの心をなぐさめるに違いありません。身体が浄化されるような空気とそこへ降り注ぐ日差しがあいまって、ここはなんと祝福された場所なのかと思いました。

堂本印象は京都で生まれ育った近代日本画の大家です。彼が生涯で最も多い104枚もの襖絵を描いたのが苔寺でした。絵はがきからは足繁く通ったであろうこの地を印象がとても愛しかったことが伺え、苔むした庭に身を置いて楽しげに筆を運んだ様子が思い浮かぶのです。



表紙の絵はがき：  
《苔寺》堂本印象 ¥110



## 京都便利堂 だより

2025 VOL.19  
5/6  
初夏号

### CONTENTS

アートのある暮らし	02
便利堂ものづくりインタビュー tupera tupera さん	04
季節のごあいさつ 19	10
美術はがきソムリエからの定期便	11
【特集】 〈京都はん〉まち歩き MAP	12
Information	16

2025年 企画・制作・発行 株式会社便利堂  
5月1日発行 Director 鈴木 巧  
(奇数月発行) Chief Staff 中嶋直子  
Staff 西川 愛 / 増尾麻黄 / 渡邊 葵

※本誌記載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。





絵本『しろくまのパンツ』『パンダ銭湯』など著書多数。各国でも翻訳出版されている。『わくせいキャベン動物図鑑』で第23回日本絵本賞大賞。2019年に第1回やなせたかし文化賞大賞を受賞。

**亀山達矢さん**  
1976年10月17日三重県生まれ京都市在住。武蔵野美術大学油絵学科版画専攻卒業。天秤座のB型。特徴は帽子に眼鏡。

**中川敦子さん**  
1978年3月6日京都府生まれ京都市在住。多摩美術大学染織デザイン科卒業。魚座のA型。特徴はのっぽで天然パーマ。



## 便利堂 ものづくり インタビュー 【第19回】

布にオリジナルの柄をプリントして、その布を切ってパッチワークやアップリケ、ミシン刺繍なんかも使って、布雑貨を作って展示販売をしていたんです。それが23年前くらい。

亀山…いろんなお店でポップアップ的な展示会をさせてもらっていたら、徐々に広がっていったって、雑誌に紹介してもらったりするようになりました。そこから、いろんな縁が重なり、絵本を作ってみよう！ということになりました。

中川…一番最初の絵本は、自費出版でつくった『木がずらり』という本です。今現在は、ブロンズ新社から少し形を変えて出版されています。

亀山…そもそも自分たちに絵本は向いていないと思っていましたよ。文章も苦手やし物語も得意じゃない。でも思いついて1冊作ってみようと。印刷所を知人から紹介してもらって、そこに通って担当になってくれた男性と話し合いながら、印刷から製本まで、自分たちで立ち会って、現場を学ぶことができました。

中川…絵本作りの最初にそれをやらせてもらったのはすごくよかったよね。印刷所のオペレーターのおじいちゃんに「この印刷でオレンジの鮮やかさを出すのは難しいんだ」と一つずつ教えてもらいながら絵本づくりができたんです。

亀山…僕ら、最初から営業は一切してないんですけど、この1冊からどんどん広がっていったね。ちよつと今回の便利堂さんとのものづくりと近い感じだったかもしれないあと。

——ものづくりのインスピレーションはどこから得ていらつしやいますか？

亀山…今回もそうですが、ありがたいことに自分たちでは予想もしていなかったような業種の方からも「何か作りたいしょう」ってご依頼をいただくことが多くて。その度に刺激を受けて、新しい分野のことを知れるのでとても面白いです。

中川…そう、それがありがたいよね。その都度、新鮮な気持ちで向き合えて、相手が求めているものを聞いて理解して、それ以上のアイデアを出して喜んでもらいたい！と。

亀山…演劇とかもそうだし、どんな仕事もつねに誰かとチームを組んでみんなのものづくりをしてきた。だから二人でやってるって感覚はないです。

中川…絵本をつくるときも、担当編集の方はもちろん、出版社から印刷、製本、書店さんまで、やっぱりチームですし、展覧会とかも企画から設営、期間中の運営まで、たくさんの人たちが関わっています。いろんなところの仲



tupera tupera (ペンペン)  
亀山達矢さんと中川敦子さんによるユニット。絵本やイラストレーションをはじめ、TVや舞台、空間のアートディレクションなど、様々な分野で幅広く活動している。NHK Eテレ「フジのひらめき工房」のアートディレクションも担当。  
www.tupera-tupera.com

●絵本作家・クリエイター——  
手ごろな商品を通じて美術をより身近に親しんでいただきたい。企画・デザインから制作まで、妥協のない姿勢で取り組んでいる便利堂のものづくりの裏側を、作り手の声でご紹介していきます。

今回は、京都在住の絵本作家 tupera tupera さんのアトリエにお邪魔し、チーム京都で作ったオンラインワンの京都みやげ〈京都はん〉誕生秘話について、本商品の企画担当・西川さんと一緒にお話を伺いました。

聞き手・社長室 前田千穂

## tupera tupera ちゃん

ツペラツペラ



京都

——ツペラツペラさんはご夫婦で活動されています。お二人の活動はどのように始まったんですか？

亀山…夫婦で制作活動をしていると、特殊な感じに受け取られて、「夫婦絵本作家ユニット」とか訳のわからない肩書きで紹介されちゃうこともあるんですけど、そもそも夫婦ってユニットですからね。(笑) 八百屋さんとかラーメン屋さんとか、お店を夫婦で切り盛りされてる人は多いでしょ。僕らはそれと同じだと思っています。

中川…私は多摩美術大学のテキスタイルデザイン専攻で、亀山は武蔵野美術大学の版画科専攻なんですけど、二人で組んで作品を作り始めた頃は、自分たちのアトリエでシルクスクリーンで

間にいれてもらってみんなで作り上げていく時間、それがすごく楽しいんですよ。

——今回はありがたいことに便利堂とチームを組んでいただきました。西川さんからお声がけしたんですね。西川…そうですね。便利堂は「コロタイプ」という世界で唯一の技術を継承していますが、これまでは主に文化財の複製技術として活用されてきました。でも限られたマーケットですの

で「知る人ぞ知る技術」でもありました。これからこの技術を次の世代に遺していくためには現代のクリエイターの方にとって使ってみてほしいと思う魅力的な「今に生きる技術」にしなければ

商品企画担当の西川愛さん(左)





ばならないとの思いから、この20年ほど写真家を中心とする現代アーティストとのコラボレートに取り組んできました。そして今後さらに多くの方にこの技術を知ってもらいたいと考えた時に、「アートの専門知識はないけどかわいもの、素敵なのが好き」という方々との橋渡しをしていただけそうなるクリエイターとしてお名前が挙がったのがツペラツペラさんでした。そこでダメ元でメールをしてみたら中川さんがお返事をくださって。

——弊社をご存じだったんですか？  
亀山…いや、実は敦子のお父さんの勤め先がNISHA株式会社（昭和4年創業の京都の老舗印刷会社）なんです。便利堂さんからお声がけいただいたことを話したら「京都で印刷の会社といえば便利堂や！ そんなやらなあかん！」って。（笑）

西川…うわあ、ありがたいです！  
中川…私たちも京都のものを作ってみ

たいなと前から話していて。京都に住んでもうすぐ10年になりますけど、京都を好きになっているので。京都の会社さんからお声がけいただくような機会があれば、一緒にものづくりができたらいなって思っていました。



たいなと前から話していて。京都に住んでもうすぐ10年になりますけど、京都を好きになっているので。京都の会社さんからお声がけいただくような機会があれば、一緒にものづくりができたらいなって思っていました。

——そこへ西川が。

西川…ツペラツペラさんの制作方法が切り絵のようにパーツを組み合わせて作品作りをされているので、版画技法であるコロタイプで同じようにパーツを版で刷り重ねていったら、今までに

この「手仕事感」が  
方がいねと  
作るならなるべく  
伝わるものにした  
二人で話しました。

か、せっかくなのに」っておっしゃったんですよ。だったらあえて「版ずれ」をさせて「クラフト感」や「手刷り感」を出してみるのはどうだろう？って。「まさにそれがやりたかったんです！」と、私たちが今回のプロジェクトの肝

西川…そこで「若い世代の方へコロタイプの良さを伝えたい」、「紙モノでコロタイプに適した商品を作りたい」と希望をお伝えしたところ、ツペラツペラさんから挙げていただいたのが「京都みやげ」というテーマでした。

——少しずつ形になってきました。お二人にはコロタイプ工房を見学していただきましたがいかがでしたか？

として課題に挙げていたことを一瞬で見抜いてくださったことがすごくうれしかったです。

——この丸い形はどんな風に生まれ  
たんでしょう？

亀山…紆余曲折あったんですけど、結局「コロタイプ」って名前がかわいいという話から…。

中川…そうそう、コロコロという響きを形にできないかなって丸型を考えたんですよ。

西川…本当にいろいろアイデアを出していたらいて。

亀山…その中で「京都さん」っていうのが出たんですよ。でも版画なんかやらせつかなら版画とかけて「京都はん」がいいんと違うか？って。

西川…これ最強のネーミングです。飾れるものがないのか、文具っぽいグッズがいいのかとか考えつつ…。

中川…自分たちが今作りたいと思った京都の魅力を選んでみよう。だから



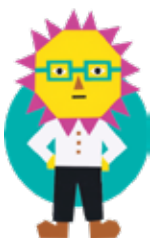
ツペラツペラさんが描き下ろした原画を便利堂の職人がコロタイプで鮮やかにプリントした京都土産の新定番「京都はん」全20はんが4月18日に新発売されました（写真は作業途中の校正刷）。

中川…やっぱりものづくりの現場はかっこいいですよ。私は大学でシルクスクリーンをやっていたので「うわーインクの匂いだ」と懐かしい気持ちになりました。あと工房にはいろんな印刷が重なったヤレ紙があったり、工房のいろんなものが気になったりして。



らなるべくこの「手仕事感」が伝わるものにした方がいいねと二人で話しました。

西川…そう、中川さんは見学しながら「ここまで精密だと、コロタイプは手仕事って伝わりづらいんじゃないです





20 作品の中には個人的な思い入れのあるテーマも入れました。出張から帰って来たときに京都タワーを見上げると「ああ帰ってきたな」と思うし、喫茶店文化も好きですし。

亀山…候補はたくさん挙がったんですけど顔をつけてキャラクター化していくものは外してね。例えば二条城といえば「虎の間」が有名ですが、よく見るとディテールとかも全部が虎っぽく見えてきて。僕は堀川通りをしょっちゅう車で通るんですが外の門が虎に見えたんです。まるで虎の口の中へ入っていく…みたいなイメージがあっそうなりました。

——— どれもお二人と一緒に考えていただいたんですか？

亀山…これはねえ、たくさんのテーマの中から「取り取り」していくのが楽しいんですよ。『あ、これ俺作る』『これ俺わりやから敦子やって』みたいなのをお互い。そういうのが楽しいんですよ。顔に関しては僕が全部入れているんですけど、それ以外はどっちかが作ってるんです。一つを全部一緒に作ってるわけではないんですよ。

——— どれも表情がかわいくて。鯖寿司はんや茶の湯はんは顔があることでぐっと親しみがわきました。

そんな制作途中もアート作品ぽくって全版重ねない方がおもしろいんじゃない？とか。むしろそれもよく見えてしまってる感じがしました。

亀山…こういうもののづくりってプロセスが全部いいんですよ。版画も版木の方がよくなったりするので、そこらへんでいつも戦いがあります。ほんと今回は僕らも普段とは違うもののづくりをしたって感じがありました。

——— 便利堂にとっても「京都はん」は普段とは違うもののづくりでした。

西川…文化財複製は原本という正解がありますから、そこへ合わせていくのはすごく得意なんです。けれどもこんな風に「ゴールを作らないものづくり」は今回が初めてでした。でも職人のみんなは四苦八苦しつつも一丸となって取り組んでくれました。

中川…コロタイプの職人さんたちが、あれだけ何度もインクの調子や色の調子に合わせて、最後の最後は手の感覚で決めていく。そうして手間暇惜しまずやってくださっていることが、商品からにもじみ出るようなものになれば一番いいなって思ったんですよ。

西川…ありがとうございます。私はそんな今までとは違うアプローチのものづくりが楽しくて仕方なかったですね。大変と楽しいって表裏一体なんや



本番の印刷の立会いチェック



本機での校正刷



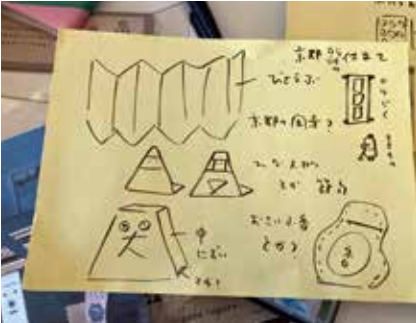
最初のテスト刷



版下（色ごとにシートを分けた 5 枚の原画）



最初の打ち合わせ風景



初回のアイディア出し

亀山…だって「京都はん」ですから。中川…そう。私たち、常に「顔をつけちゃう症候群」なので。（笑）

亀山…作品と目が合うのがいんですよ。顔、つけたくなっちゃうんです。顔って一人ひとつ持ってますし、言葉が話せなくても喜怒哀楽ってわかりますよね。顔はみんなが共感できるいいモチーフなんですよ。

——— 今回は、原画を1色ごとの版下で描いていただいたと聞きました。

西川…そうですね。『完成した絵』だと、そこから色を取り出し、完成した絵に合わせていくという「今までの複製制作と同じ工程」になるんです。それでは当初の「パーツを刷り重ねて今までにない風合いのコロタイプを作ろう」というコンセプトから外れてしまいます。そこで1色ずつトレーシングペーパーでパーツの版下を描いていた、だくことをお願いしたんです。完成イメージが掴みづらいので大変だったと思うのですが…。

中川…：そうするものだと思ってたよね？

亀山…：そうそう。版画なので、1版ずつ原画を作るべきだろうと。

西川…この色とこの色を重ねたらこうなる…という想像をしてくださったんですか？

と実感しました。どこにもないオリジナルな商品が出来上がったんじゃないかと自負しています。

——— 最後に「京都はん」と目が合った方へメッセージをお願いします。

中川…「京都はん」には、普段の京都と旅先の京都、どっちもが混ざり合っています。京都にしかない印刷技術を使って、紙の厚さや大きさなど細部までこだわって作ったので、ぜひ手にとって見てほしいです。観光客の方にも、京都人の方にも、うきうきした気持ちで買ってもらえたらうれしいですね。あと、レコードジャケットを飾るみたいに、部屋のどこかに飾ってもらえたらうれしいな。

亀山…絵本って子どものものと思われがちなんですけど、本当は大人から子どもまで楽しめるものですよ。『京都はん』も、ぜひ大人の方にも楽しんでほしい。だって大人も「元子ども」ですからね。子ども心って全ての人にとって共通する大切なテーマだと思うんですよ。大人も子どもと一緒に「京都はん」で版画のおもしろさやコロタイプのすごさを知ってもらって、京都のモチーフを楽しんでもらう機会になるといいなって思います。

※過去にメルマガで配信したインタビューのバックナンバーはこちら



中川…単純に赤と黄色を混ぜたらオレンジ、みたいな何となくのイメージですけど。なにしろ私たちも確証がないから制作中は不安だね。

亀山…僕ら普段からパソコンを使わないんですよ。メールや検索なんかでは使いますが、クリエイティブなものづくりでは使わない。完全にアナログ人間なんです。きつと今ならほとんどの人はパソコンで作品を作って、正解がわかった段階で版下をもう1回作ったりして、頭の中でちゃんとイメージできる状態にするんでしょうね。計算してちよつとずらしたりとか。でもそういう風にする予定通りのものになってもおもしろくない。せつかならやったことないことをやろうって。

——— 初めてテスト刷をご覧いただいたときはいかがでしたか？

亀山…「京都はん」は色数が1作品あたり5色と決めました。でも僕らにしたらほんとにたった5色でこの全部を表現できるの？って不安でした。だからテスト刷を見たときには「こうなるのか！」って驚きと、「思ってたのと違った」っていうのも正直あったかな。ここは意外とおもしろく出たねとか言いながら…。

中川…うん、めっちゃおもしろかったですね。1版目と2版目を重ねたもの、



全 20 はん 新発売 各 1,310 円

京都便利堂が京都在住のアーティスト、ツペラペラと「コラボレーションした新しいカードシリーズ」。「京都のさまざまなもの」をモチーフにツペラペラが描き下ろしたイラストを便利堂独自のカラーコロタイプ技術でプリントした「贈っても、使っても、飾っても」楽しい京都みやげの新定番です。『京都はん』の「はん」は「版画」と京ことばの敬称「はん」を掛けています。

市内 20 か所のサテライトショップで京都めぐり

個性豊かな全 20 はんは、京都市内のサテライトショップにて各 1 種を販売しています（便利堂本店では全種、公式オンラインでは「舞妓はん」「京都タワーはん」の 2 種が購入可能です）。詳しくは本誌 12 頁の特集「京都はんまち歩き MAP」をご覧ください。

#### 【京都 蔦屋書店にて発売記念イベント開催!】

##### ①「京都はん」ポップアップショップ

全 20 はんが期間限定でずらり勢揃い。  
期間：4 月 18 日（金）～6 月 30 日（月）  
※期間終了後は祇園祭はんのみの販売となります。

##### ② tupera tupera サイン会 & クロストーク

「京都はん」の誕生秘話を tupera tupera と京都便利堂（コロタイプマイスター・山本と担当・西川）が語り尽くします。当日店頭でご購入いただいた方限定でサイン会も開催。

日時：5 月 31 日（土）  
サイン会 17：00～18：00  
クロストーク（受付）18：40  
（開始）19：00～20：00

上記会場：京都 蔦屋書店（P.14 【MAP ⑤】）





# ゴールデンウィーク

4月末から5月初め

「手紙なんてちょっとおおげさかな。」でも、感謝やお礼、ともに喜び合うお祝いの気持ちなど、ときには手書きではがきやメッセージカードにちよつと季節の言葉を添えて送ってみてはいかがでしょう。折々の季節のごあいさつをご紹介します。

「ゴールデン」な休日  
ゴールデンウィークは、ご存知の通り初夏の行楽シーズンに休日が続く皆さんお待ちかねの期間のこと。「今年は11連休!」、なんて方もいるかも知れません。どこに行っても人も車も多いですが、それを承知の上でもおでかけしたくなるようなうらかな陽気が他に代え難い魅力です。まさに「ゴールデン」な休日といえますね。

か? 昭和26年(1951)のこの頃に封切りされた映画『自由学校』が大映創設以来の最高売上を記録、正月やお盆以上の興行成績を残したそう。そこでこの時期に、お客さんを多数呼び込むことを目的に「ゴールデンウィーク」という言葉が作られたそうです。ちなみに秋の文化の日辺りを「シルバーウィーク」と名付けたのも大映だそうです。なんとも洒落たセンスですね。

す。次は「近所・近場のおでかけ」、そして「日帰り旅行」と続きます。案外、ご自宅でゆっくり派が多いようです。もちろん仕事で休みじゃない!という方も多いと思います。が、休日の方はぜひ気候のよいこの季節こそ、親族が集うタイミングにしたいかがでしょう。酷暑のお盆や寒さ厳しいお正月よりも、ゴールデンウィークは皆が快適に過ごせそうな気がしますね。ご親戚の集いの誘いはもちろん、久しぶりの友人へ「ちよつと顔が見たいね」といったお便りなど、季節の絵柄を添えたメッセージがいつもと違う連休へと導いてくれるかも知れません。

ゴールデンウィークの語源  
その語源が、大映(大日本映画製作株式会社)が作成した宣伝用語であることをご存知だったでしょう

ゴールデンウィークの過ごし方  
毎年の大型連休、皆さんどう過ごされていますか? あるアンケートで最も多かったのが、「自宅で過ご

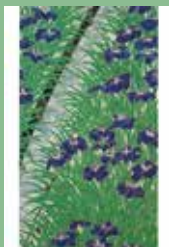
す。次は「近所・近場のおでかけ」、そして「日帰り旅行」と続きます。案外、ご自宅でゆっくり派が多いようです。もちろん仕事で休みじゃない!という方も多いと思います。が、休日の方はぜひ気候のよいこの季節こそ、親族が集うタイミングにしたいかがでしょう。酷暑のお盆や寒さ厳しいお正月よりも、ゴールデンウィークは皆が快適に過ごせ

## Season Greetings vol.19



《鳥獣略画式(ゾウ)》 鍛形蕙斎

### 初夏のおすすめはがき



《花菖蒲》 福田平八郎

便利堂公式オンラインショップでは、このシーズンにピッタリな絵はがきをご用意してお待ちしております。季節のおすすめはがきはこちら



## 美術はがきソムリエからの定期便 浮世絵の美

●毎月〈ふみの日〉に絵はがき8枚を6ヶ月間お届けします。

●月々わずか1,000円(税・送料込)

■半年間6,000円：月々1,000円(税・送料込) × 6ヶ月※

●今回も特典が盛り沢山!

①毎回、浮世絵の世界をやさしく解説した〈特製ブックレット〉付き

②全6回一括払いでのお申し込みの方に、プッシュピン式絵はがき立てをプレゼント(先着100名様)

③さらにもれなく2大プレゼント

◆初回お届け月にオリジナル〈浮世絵年表・用語集〉  
◆最終お届け月に、絵はがきが収納にピッタリ〈浮世絵A5変形クリアファイル〉(定価385円)をプレゼント

※途中解約はいつでも可能です。月々の都度払いはクレジットのみとなります。くわしくは専用サイトをご確認ください。

毎月のお楽しみ◎「美術はがき」がある暮らし

美術はがきソムリエからの定期便 第2弾

# 浮世絵の美

6月〈歌麿と写楽〉



1

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



5

6月〈歌麿と写楽〉



2

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



6

6月〈歌麿と写楽〉



3

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



7

6月〈歌麿と写楽〉



4

5月〈ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界〉



8

- 1 《重文 四代目松本幸四郎の山谷の肴屋五郎兵衛》東洲斎写楽(絵はがきセットに収録)
- 2 《当世踊子揃・吉原雀》喜多川歌麿
- 3 《歌撰恋之部 物思恋》喜多川歌麿 江戸東京博物館
- 4 《重文 市川崑蔵の竹村定之進》東洲斎写楽
- 5 《鳥獣略画式(トラ)》鍛形蕙斎
- 6 《鳥獣略画式(フクロウ)》鍛形蕙斎
- 7 《おもちゃすごろく》
- 8 《新ばん猫世帯ままこしらえ》歌川国梅
  - 1・2・4は東京国立博物館
  - 5・6は福岡市博物館
  - 7・8は青木コレクション 2~8 ¥110

好評発売中の「美術はがきソムリエ」からの定期便「第2弾『浮世絵の美』」から5・6月号をご紹介します。  
5月のテーマは「ゆるかわ動物とおもちゃ絵の世界」。最小限の線で秀逸に表現されたコミカルな動物たちと、双六や切り貼りして作る組立絵などおもちゃ絵の数々。つい幼少期を思い出してワクワクするはず。

6月は「歌麿と写楽」仕掛け人・蔦屋重三郎。美人画の歌麿、役者絵の写楽。作品の魅力の裏にある、しづを削った浮世絵師たちと版元「蔦重」の働き、彼らのドラマティックな生き様をご紹介します。

増尾麻黄(ますお・あさぎ)：美術はがきソムリエとして、手のひらサイズの美術館「絵はがき」の楽しみ方をご提案します。《鳥獣略画式》は、今回絵はがきになっていない人物画もおすすめです。むぎゅとした行列が良き。店舗で見かけたらぜひお声をかけてください。

毎月ふみの日に  
ソムリエが厳選した美術はがきが  
6ヶ月間ご自宅に届きます。











手に取りたくなるブックエンドは他にないかわいさ

【MAP 18】

## 空間そのものが作品のような佇まい

金閣寺近くの西陣エリアに佇む 90 年間使われていなかった町家を、オーナーの富金原堯さん自ら修繕し誕生したギャラリースペース。「Studio Enju」の陶器や様々なクラフトアイテムのほか、カフェスペースでは洋菓子店「こむぎと」のお菓子も。随所にこだわりの詰まった空間へぜひ。●075-468-3276 営業時間 11：00～18：00 定休日：不定休



アート作品が飾られた広々空間はさながら観光地のオアシスです

【MAP 19】

## 嵐山散策で立ち寄りたいブックカフェ

JR 嵯峨嵐山駅より徒歩 1 分、ホテルビナリオ嵯峨嵐山内にある tutti (トゥッティ) は本と雑貨が楽しめるカフェ。ふたば書房とコラボしたハイセンスな和雑貨や書籍が楽しめます。豊富なカフェメニューは京都のお揚げや丹波産の卵など地元食材をたっぷり使っているのがうれしい。●075-871-9711 営業時間 8：00～17：00 定休日：無休(年始に休館あり)



緑豊かな境内を散策した後は東寺ゆかりのお土産を探しに売店へ

【MAP 20】

## 唯一残る平安京の遺構

東寺はおよそ1200年前に創建。新幹線の車窓から見える五重塔は約55mと木造の建築物としては日本一の高さを誇り京都南口のランドマークとして知られています。毎月21日の「弘法さん」には露店が建ち並び賑わいます。●075-691-3325 開門時間 5：00～17：00 (拝観時間：金堂・講堂 8：00～/観智院・宝物館(公開時) 9：00～/いずれも 16：30 受付終了)



台所からテーブルまで暮らしを素敵に彩るスタイルを提案

【MAP 15】

## おいしいごはんの名脇役と出える

こだわりの八百屋「京都八百一本館」の 2 階にあるのがアンジェ ボン・ルバス鳥丸店。広々とした空間には「食」をテーマにセレクトされた世界中の雑貨が並んでいます。作家さんの 1 点ものや、あるとうれしいキッチンツール、料理の専門書など、つつい長居をしなくなる魅力的な品揃えが満載です。●075-223-2010 営業時間 10：00～21：00 定休日：1/1・2



京都や日本にちなんだここでしか買えないアイテムが数多くスタンバイしています

【MAP 16】

## 匠からサブカルチャーまで大集合！

日本をキーワードに、「これぞ日本だ」といえる様々なコンテンツをキュレーションする BEAMS JAPAN。その発信拠点が新風館 1F に。全国各地の丁寧な手仕事で作り出された世界に誇れる逸品や遊びゴコロ溢れる "なんかいいね" なものをセレクト。日本の魅力を世界に発信しています。●075-708-6848 営業時間 11：00～20：00 定休日：不定休



書店やカフェ、ギャラリー、印刷工房をリンクして自由に過ごすことができます

【MAP 17】

## 「堀川の暮らしに、豊かさを」をテーマに

伝統的なものづくりが行われてきた西陣の近くにある「堀川新文化ビルディング」は大垣書店が運営する複合施設。誰もが気軽にアートやクラフトなどに触れ合える「文化のプラットフォーム」を目指しています。その発信拠点である 1F の大垣書店は書店の枠を超えた様々な新たな取り組みを行っています。●075-431-5551 営業時間 10：00～22：00 定休日：無休



想像力を刺激される本の並びに棚の前からなかなか動くことができません

【MAP 12】

## 誠光社

扉を開ける前から本との出会いに胸が高鳴ります。「本屋は街の光」。土地に根付き店と客が呼応しあう「これからの当たり前」を目指して、店主の堀部篤史さん自ら選んだ書籍が整然と並びます。自分の興味が縦横無尽に広がる体験はここならでは。原画展や対談などイベントも多数。●075-708-8340 営業時間 10：00～20：00 定休日：無休



暖簾が目印。店へ一歩踏み入るとと香ばしい香りに全身が包まれます

【MAP 13】

## 店内の喫茶室で心の渇きも癒すお茶を

約 300 年前に創業後、お茶の品質のよさから山階宮より「茶一つを保つように」と賜ったのが一保堂の屋号の始まり。以来お茶に向き合い多くのファンに愛されています。好みや用途を丁寧に聞き取りつつ、淹れ方まで優しくレクチャーしてもらえるのは老舗の専門店ならではの。●075-211-4018 営業時間 10：00～17：00 (L.O.16：30) 定休日：第 2 水曜日



書籍の柱は「歴史」「美術・工芸」「映画」の 3 ジャンル。京都ならではののお土産もずらり

【MAP 14】

## 展示を観た後もよし、観る前もよし

博物館 1 階の Ququ は「大垣書店」と製本会社の「藤原製本」がタッグを組んで生まれたミュージアムショップ。書籍や雑貨、京都土産はいずれもアートを生活に取り込むきっかけとなるラインナップ。自分や大切な方への贈り物を探す際、訪れたい 1 軒です。●080-7078-7222 営業時間 10：00～18：00 定休日：月曜日(休館日に準じる)



斜め前の浄土寺センターには古書のほか作家ものの陶器や生活雑貨などが並び

【MAP 9】

## ここでもしか出会えない 1 冊を探しに

大文字山を背景に、銀閣寺や法然院、哲学の道からほど近い人気の浄土寺エリアにあるホホホ座。自称〈やけに本の多いおみやげ屋〉という店内には、所狭しとコアな左京セクションがずらり。本作りのほかイベントなど多岐に渡る活動で京都に熱い風を吹かせる 1 軒です。●075-741-6501 営業時間 11：00～19：00 定休日：無休



店先 zu らつと並んだ天狗のお面が目印

【MAP 10】

## 鞍馬寺お参りのあとにほっと一息

叡山電車鞍馬駅を降りてすぐの角にあるから「かどや」。店内には所せましとお土産品が並び、なかでも刻んだ莖わかめと山椒を炊いた「くらま時雨」、自家製の「ちりめん山椒」が参拝土産として人気のひとつ。アットホームな雰囲気の中、本格的なうどんや丼、ぜんざいなどがいただけます。●075-741-2029 営業時間 11：00～17：00 定休日：不定休



店名はお店がある出町柳が鯖街道の終着点、京都の入口であることから命名

【MAP 11】

## 京都カルチャーの拠点で文化に浸ろう

京都でも有数の規模を持つ商店街として広く京都市民に親しまれる出町柳商店街に立地する映画×本屋×カフェの複合施設「出町座」。サヴァ・ブックスはその 1 階にある本屋さんです。上映作品に合わせて作り替える書棚には映画を見たあと手に取りたくなる本が並びます。●075-203-9862 営業時間 9：00～21：50 定休日：無休(年末年始を除く)



フロアごとに異なる世界は、まるで宝探しをするような気持ちになります

【MAP 6】

## 古い銀行を改装したクラシックな建物

1 階から 3 階までのフロアには「上質な暮らし・美しいデザイン」をテーマに、ステーションナリーをはじめファッション、ボディケア、キッチン用品など日本・北欧を中心に独自の美意識で世界中から選んだとっておきが並んでいます。暮らしに彩りを添える出会いがきっとあるはず。●075-213-1800 営業時間 11：00～20：00 定休日：無休



コーヒーを飲みつつ読書を楽しむ、併設されたギャラリーで文化に触れよう

【MAP 7】

## 京都を代表する文教地区でカルチャー三昧

神社仏閣や美術館、動物園などの文化施設が集まるエリア・岡崎にある蔦屋書店は、かつて京都会館として親しまれた「ロームシアター京都」にあります。「アート」「日本の暮らし」「ON JAPAN」をテーマに厳選した本やメイドイン京都の雑貨が並び、人とアートを繋ぐ "GARELLY EN" も。●075-754-0008 営業時間 10：00～20：00 定休日：不定休



40 種類ものオリジナルスバゲティのほか、ケーキは毎日約 15 種類も！

【MAP 8】

## 気取らないホームメイドスタイルがこだわり

京都で長年愛されてきたスバゲティとケーキの老舗カフェ。工房が併設された銀閣寺店で毎日手作りされるケーキは、国産小麦を使用した素朴で優しい味わいが人気です。テラスから柔らかな日が差し込む落ち着いた空間で、人の手の温もりが感じられるひと皿をぜひお楽しみ下さい。●075-752-9004 営業時間 10：00～19：00 (L.O.18：30) 定休日：無休



地域の歴史を語り継ぐ情報発信の場としても活躍

【MAP 3】

## 歴史を紡ぐ憩いの場で思い出の品を

くご自分や大切な方のために「贈る土産もの」がコンセプト。伏見稲荷大社の千本鳥居の朱色を店名に掲げた店舗には、心惹かれるストーリーの詰まった商品、日本のグッドデザインや伝統工芸品のほかオリジナル商品が数多く並んでいます。一生の宝物に出会えるお店です●075-748-7857 営業時間 9：00～17：30 (季節により変更あり) 定休日：不定休



便利堂運営の南門ショップはフリースペース。七条通に面した入館口の左手です

【MAP 4】

## 品揃えが自慢の美術商品で美術品を身近に

三十三間堂のお向かい、京都の文化財を中心に収蔵する京都国立博物館の南門ショップでは、「日本、京都の文化を持ち帰ろう」をコンセプトに、所蔵品絵はがきや鳥獣戯画グッズ、縮小の巻物や屏風など日本の美しい文化財をモチーフにした美術商品が一堂に。●075-551-2369 営業時間 9：30～17：00 (金曜は 20：00 まで) 定休日：月曜日(休館日に準じる)



書籍のほか、年間 60 以上の展覧会を開催するなど感性を刺激されるイベントも多数

【MAP 5】

## お気に入りのアートに出会える空間

高感度な店舗が連なる T8 に出店する「京都 蔦屋書店」はアートと文化の「伝統と最先端」が共振する場。芸術分野中心に 6 万冊もの和洋書、ヴィンテージブックが並び抜かれています。日常を彩る文具や工芸品などここでしか手に入らないお土産も。知的好奇心が刺激される体験をぜひ。●075-606-4525 営業時間 10：00～20：00 定休日：T8 休館日に準ずる





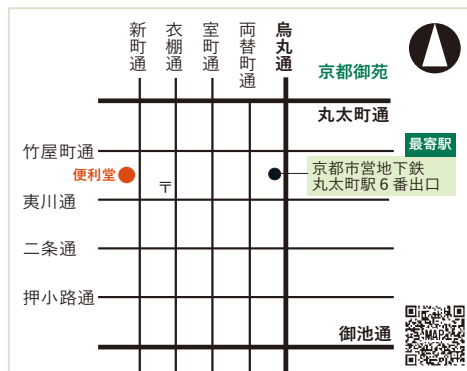
## 京都便利堂本店

〈京都はん〉全 20 はんを揃えてお待ちしております！

便利堂本社 1F には、美術商品を取り揃えた京都便利堂本店を開設しております。ぜひ京都にお越しの際はお立ち寄りください。

【営業時間】 10:00 ~ 19:00  
【定休日】 日・祝日 (GW 中は無休)  
【Telephone】 075-231-4351 (代表)

Instagram@kyoto.benrido  
X@kyotobenrido  
facebook@kyotobenrido.shop



### 【アクセス】

〒604-0093  
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町 302 番地

#### 〈公共交通機関でお越しの方〉

- ・市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車 ⑥番出口より徒歩 7 分
- ・市バス 「文化庁前・府庁前」下車徒歩 5 分



#### 〈お車・タクシーでお越しの方〉

- ・京都駅から 15 分、お客様駐車場あります。
- ・タクシードライバーに「新町通り夷川(えびすがわ)上がる」とお伝えください。

## コロタイプギャラリー

便利堂コロタイプギャラリー〈春季〉企画展示【ギャラリー1】

Francis Haar フランシス・ハール〈1950 年代の日本の芸術家〉

左より：柳宗悦 / 棟方志功 / 河井寛次郎 / 北大路魯山人



京都便利堂本店がある便利堂本社には、〈コロタイプギャラリー〉が併設されています。現在ギャラリーでは、第 2 次世界大戦中の欧州から数奇な運命で日本に逃れ、生涯を通して日本文化を海外に発信したハンガリー写真家フランシス・ハールによる「日本の芸術家」13 人の肖像写真を好評展覧中です。

※ギャラリー 2 では 5 月 11 日まで「〈恵みの循環〉木下大輔 / 櫻井朋成 / Fanny Boucher」展を開催 ※次回展は 6 月 16 日より「第 12 回コロタイプのおもしろさ展」を開催

会期：2025 年 4 月 10 日 (木) ~ 5 月 31 日 (土)

開廊：10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

休廊：日・祝日 (※ただし KYOTOGRAPHIE 開催期間の 4 月 12 日 (土) ~ 5 月 11 日 (日) は、無休)

入場：無料